【高等学校用】

令和５年度学校評価 計画

学校名	佐賀県立鳥栖工業高等学校（全日制）

1　前年度 評価結果の概要	・コロナ禍三年目を迎える中、保護者、生徒、職員の協力で、今年度も進学、就職率の100％を達成できた。学校評価においても本校への満足度は高く、様々な活動に対する理解と協力を得ている。学校関係者評価も良好である。 ・コロナ禍における学びの形態が大きく変わろうとしている中、リモート授業に対する職員の技術向上が求められる。また、実習など、リモート学習が難しい場合の取り組み方の工夫が必要である。 ・志願者率の低下が引き続き危惧される中、「ものづくり」技術を活かした地域貢献活動を更に活性化させ、工業高校の魅力を伝える活動が必要である。 ・今後も教職員の働き方改革を推進する。また、出退勤管理システムを効果的に活用し、時間外勤務の縮減を図る。さらに、部活動の在り方等を見直し、今年度以上に健康的で活気のある職場環境を整えていく必要がある。
2　学校教育目標	広い視野と豊かな創造力を持ち、自ら学ぶ意欲と自らを律する力を備え、心身共にたくましく、個性豊かで人間愛に満ちた、社会に貢献できる工業技術人の育成を図る。
3　本年度の重点目標	①唯一無二の誇り高き学校づくり（学校の魅力のブラッシュアップ・情報発信） ②学力向上（主体的学びの定着） ③工業技術の習得（資格取得の奨励） ④心の教育（人権意識の向上）

4　重点取組内容・成果指標

（1）共通評価項目

重点取組			具体的取組	主な担当者
評価項目	取組内容	成果指標 （数値目標）		
●学力の向上	○授業の充実、指導方法の工夫・改善に関しての取り組み	○生徒の授業に対する理解度85％以上を目指す	・全職員が参加する相互授業参観を計画し、授業の充実、指導方法の工夫・改善につながる取り組みを各教科で行う ・タブレットPCの利用を推進し、生徒の理解がより深まる実践的指導を行う	教務主任 教科主任 学年主任
	○志を高め、希望進路の実現	○就職・進学の希望を100％実現する	・学習計画表を配布し、定期考査、模擬試験等に向けた家庭学習の定着を図る ・年間5回実施するキャリア・パスポートを基に、個々に合った進路情報の提供、進路指導の充実を図る	進路主任 教科主任 学年主任
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○人権意識の向上が感じられた生徒を100％にする	・人権・同和教育講演会を行う ・情報の授業、LHRにおいて、情報モラル教育、人権教育を行う	人権・同和教育担当者 学年主任
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○悩みを相談できる教職員がいるという生徒を80％以上にする	・いじめに関してのアンケートを年間に2回以上行う ・いじめ対応についての研修や啓発活動を年間に2回以上行う	教育相談主任 生徒指導主任 学年主任
	◎★ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動の推進	◎佐賀県に誇りや愛着を感じる・どちらかというと感じるという生徒80％以上を目指す ★郷土の人材を活用した講演会等、全学年対象に年間1回以上行う	・佐賀県内各地域に関わる郷土学習資料や「佐賀語り」等を活用した教育活動に取り組む ・全学年対象に年間1回以上、郷土の歴史や文化を学ぶ講演会を行う	図書主任 3年担当
●健康・体つくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に良い食事をしている」生徒を80％以上にする ○毎日、朝食をとる生徒80％以上を目指す	・生活状況調査、食に関する意識調査を行う ・全学年に食育に関する講演会を行う ・保健だよりを定期的に発行し、食に関する意識を高める	保健主事 食育担当者
	●安全に関する資質・能力の育成	●生徒の交通事故件数0（ゼロ）を目指す	・交通安全に関する講演会・講話を行う ・自転車安全点検を年間に2回以上行う ・職員による街頭指導を定期的に行う	生徒指導主任
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する	・月曜日を定時退勤日とする ・学校閉庁日を設定する ・部活動休養日を設定する ・会議の精選や会議時間の短縮を図る	管理職

（2）本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組			具体的取組	主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 （数値目標）		
★唯一無二の誇り高き学校づくり	★工業技術・スポーツ分野における全国大会等での上位入賞 ★県外からの入学志願者数の増加	★自分の学校を中学生に勧めることが出来る生徒の割合78％以上、教職員の割合85％以上を目指す ★全国大会等での上位入賞者数、5名以上を目指す ★県外からの入学志願者数、募集定員の10％以上を目指す	・工業技術・スポーツ分野において、生徒の可能性・潜在能力を十分に引き出す指導を適正かつ科学的に行う ・学校のホームページや学校紹介リーフレット等を活用し、情報発信を効果的に行う	部活動顧問 教務主任 情報部主任
○工業技術の習得	○資格取得の奨励	○各生徒が1つ以上の資格を取得する	・各工業科において、資格取得を奨励し、その資格の必要性と将来性を紹介するとともに補習体制を強化する	各工業科主任

●･･･県共通　○･･･学校独自　◎･･･志を高める教育　★･･･唯一無二の誇り高き学校づくり

5　総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・